

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくその差別！

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！

第5回地本定期大会開催

未来



郵政産業ユニオン
PIWU
全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3689
16年9月20日(火)
・Fax 095-828-1953



おはようございます。
9月18日(日)に郵政産業労働者ユニオン九州地本第5回定期大会が、福岡県労連事務所で開催され、中郵支部からも代議員を含め5名が参加しました。
大会は松野執行委員の開会挨拶でスタートし、まず執行部を代表して向井副委員長が、「今年は組織拡大を積極的に行っていく。支部地本が連携して実践してい



きましよう」と挨拶を行いました。
続いて田尻書記長が一般経過報告、活動方針を提案し、原田執行委員が会計報告と財政方針を提案しました。会計監査報告の後、休憩を挟み質疑、討論に入りました。質疑では予定時間をオーバーする程、活発な意見が相次ぎました。
発言の内容を一部紹介します。

(糟谷南)
人が集まらず、転動していった社員に、元の若松局に1か月限定で、出向の形で助っ人に来てもらった。(若松)
長崎からもピースサイクルと組織拡大への地本の支援要請を発言しました。
また、熊本の組合員からボランティアの御礼と現在の復興の報告がありました。
その後、活動方針案、財政方針案が共に採択されました。また執行委員選挙では、全員が信任されました。議長団解任の後、最後は米地新委員長が団結カンパニーで地本大会は終了しました。
大会終了後には、博多駅近くの居酒屋に場所を移し、懇親会を開催し、交流を深めました。

交通事故が多発していて、期間社員が交通事故を起こしてスキルを下げられた。

長崎県労連 定期大会報告

9月10日(土)、勤労福祉会館で、長崎県労連第29回定期大会が開催されました。ユニオン長崎中郵支部からも高口支部長、山田書記長が代議員として出席しました。
大会は、溝口県労連副議長の開会挨拶で、スタート

続いての県労連議長挨拶で大場議長は「七月の参議院選挙では改憲勢力が議席の三分の二を占める結果となったが、全国32の1人区で、野党統一候補を擁立し、11選挙区で勝利したことは大きな成果だ。今後は安倍首相が掲げる労働法改悪のたたかいかや最低賃金全国1000円以上への引き上げを実現させよう」と挨拶されました。



続いての来賓挨拶では、全労連総合組織局長の

笠井様と日本共産党の堀江県議会議員の2名の方より挨拶を頂きました。
各委員会の報告の後、議案の提案を鳥巢事務局長が行いました。そして今回は特別にN DOVEで活動されている代議員の報告で、午前の議事は終了しました。昼食休憩をはさみ午後からは質疑討論へと入っていきましました。質疑討論では、光洋商事分会の裁判闘争の



報告や、公共交通労組の不当労働行為による労働委員への申し立てなど各組合の代議員が職場でのたたかいを中心に発言されました。我々郵政ユニオンも山田書記長が、16春闘における中央郵便局前での3・23ストライキ突入集会の報告と支援の御礼と郵政の職場実態を報告しました。
休憩をはさみ幹事会のため討議を行い、議案がスローガン、大会宣言と共に採択されました。また、16年度役員選挙結果はすべての立候補者が信任されました。
里副議長の閉会挨拶の後、最後は大場議長の団結カンパニーで今大会は終了しました。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。